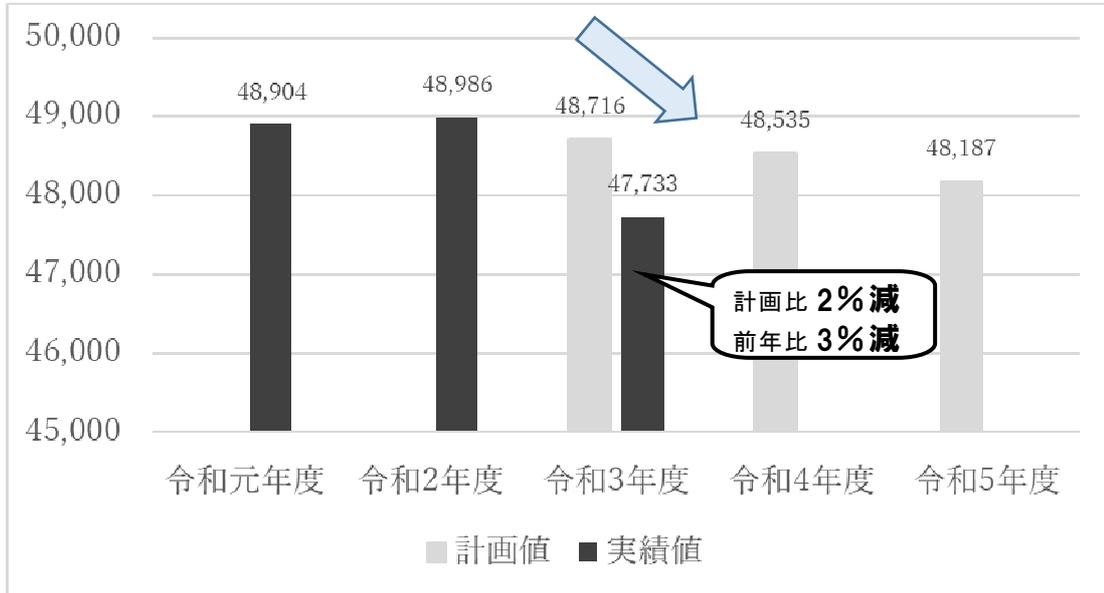


秦野市のごみ処理の現状について

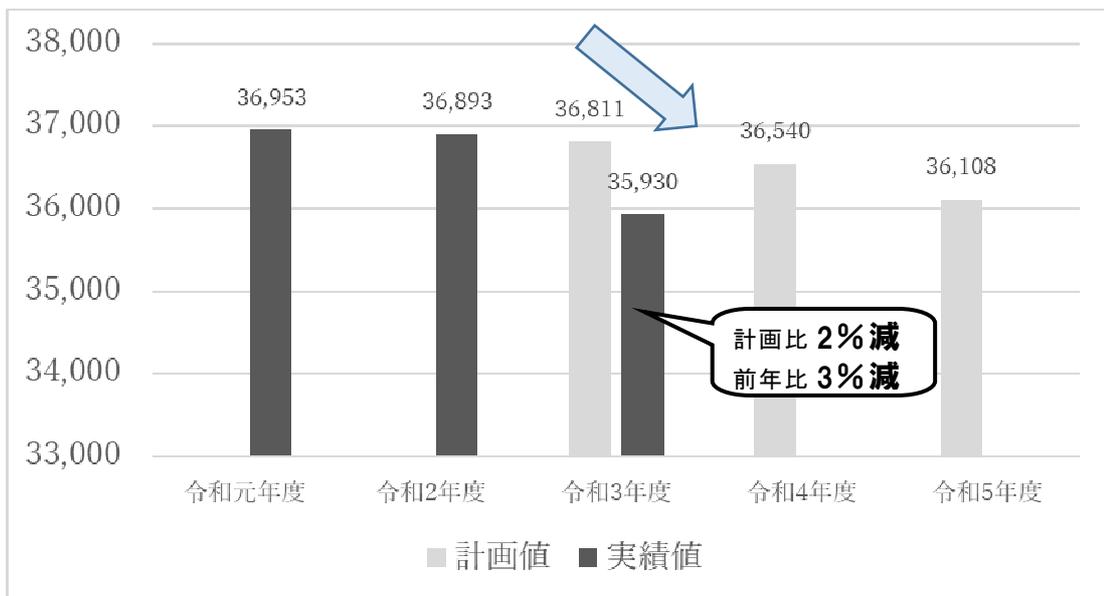
1 秦野市のごみの処理量

(1) 総ごみ排出量（資源を含む）



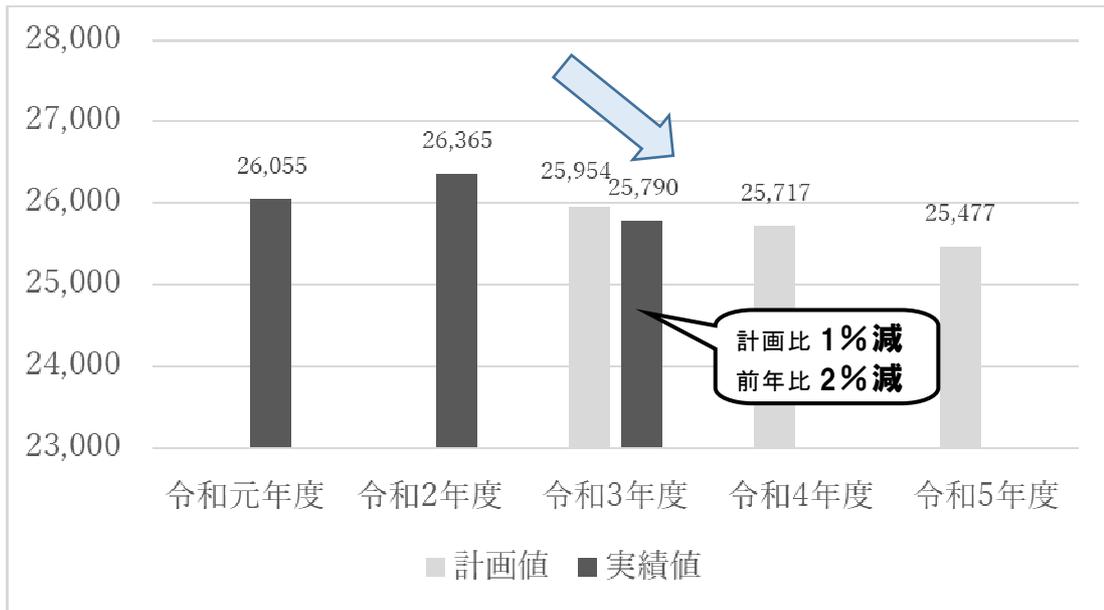
ごみと資源の総排出量は、
計画値や前年度実績より順調に減少している

(2) 資源を除く排出量（可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ）



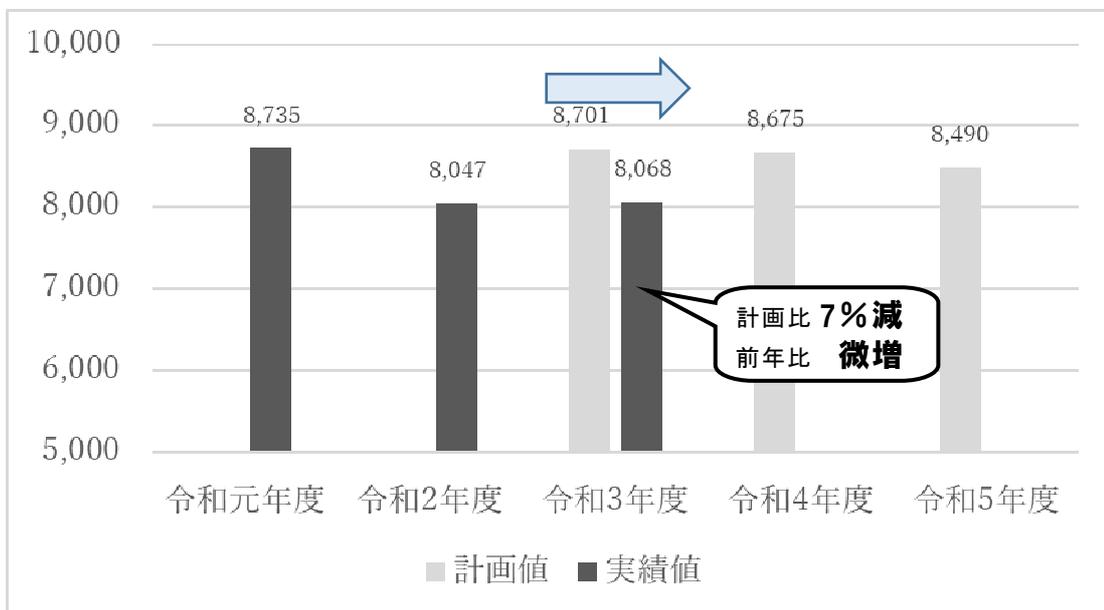
ごみの排出量も
計画値や前年度実績より順調に減少している

(3) 家庭系可燃ごみ量（自己搬入含む）



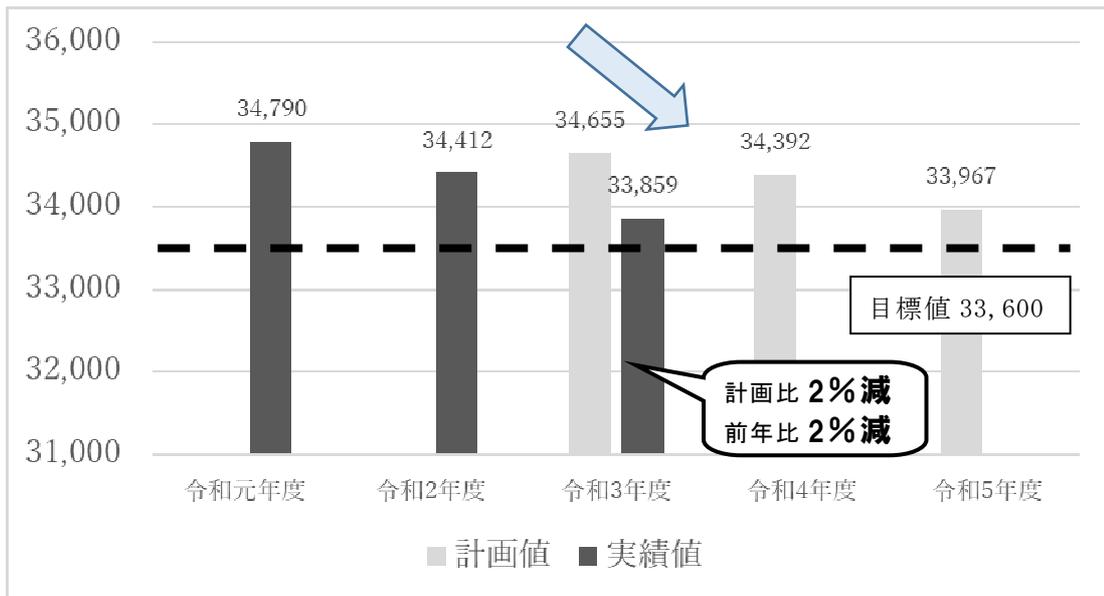
家庭系可燃ごみの量も
計画値や前年度実績よりも減少しているが
総ごみ排出量等に比べて減少率が低い

(4) 事業系可燃ごみ量（自己搬入含む）



事業系可燃ごみの量は
計画値やよりも減少しているが
前年度実績に比べ、ほぼ横ばいしている

(5) 可燃ごみ量（自己搬入含む）



可燃ごみの量は
計画値や前年度実績より順調に減少している
(R5末までの目標値まで あと約260t)

- 令和3年度末の可燃ごみ量は33,859tと、令和5年度末までののはだのクリーンセンター1施設での可燃ごみ焼却体制移行のための目標値である33,600tまで、残り約260tと減量が進みました。

可燃ごみの減量については、新型コロナによる巣ごもり需要や秦野市の人口減少などの要因も考えられますが、市民への周知により容器包装プラスチックなどの分別の徹底がなされたことなども挙げられます。

なお、令和4年度も減量が順調に進んでおり、1月末現在で前年度より約540トンの減量のため、このまま推移していけば令和4年度中にも目標に到達する見込です。